

## 2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年4月3日
研究・研修課題名	病態栄養専門管理栄養士資格更新のための教育セミナー参加
研究・研修組織名(所属)	栄養治療室
研究・研修責任者名(所属)	久保田明子(栄養治療室)
研究・研修実施者名(所属)	久保田明子(栄養治療室)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果( )
該当者名(所属)	久保田 明子(栄養治療室)
学会名(会期・場所)、認定名等	病態栄養専門管理栄養士
演題名・認証交付元等	一般社団法人 日本病態栄養学会
取得日・認定期間等	2019.4.1 認定期間5年
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容①目的

臨床におけるよりよい栄養管理を行うために、有能な専門的知識および技術を有する管理栄養士の資質向上を図り、国民の健康増進に貢献することを目的とし、日本病態栄養学会は学会認定制度を設け、日本病態栄養学会認定病態栄養専門管理栄養士を認定している。また、栄養管理・NST実施施設認定、がん病態栄養専門管理栄養士等には病態栄養専門管理栄養士資格が必須であり、資格維持が必要となる。

平成31年3月に1度目の更新申請が受理され、今後も資格を維持するため必要な単位の取得を目指す。

②方法

資格更新のための必須単位を取得するため、病態栄養学会主催の教育セミナー(更新用)に参加する。

③成果

2019年6月8日に東京で行われた病態栄養学会認定管理栄養士・更新者用プログラムでは2症例についてグループ討議をした。

1 症例目は慢性腎臓病患者についてであった。慢性腎臓病の病態の理解のための基本的な講義を受けた後、症例について検討を行った。問題点の把握のために検査値や薬剤についての理解を深めること、また生活背景を鑑みて患者の栄養指導を行うことの重要性を改めて実感することができた。栄養指導では病状の確認をし、また患者の理解度も確認しながら自己管理能力を付けて頂くことが食事管理を良好に行う上で大切であり、今後実際の栄養指導の際にも意識して栄養指導をしていきたいと思った。

2 症例目は下咽頭癌患者の栄養管理についてであった。他の基礎疾患もある患者で、化学療法後、手術を行うという症例であった。入院時の栄養評価から検討を開始し、必要栄養量の算出、栄養投与プラン、化学療法中に予測される有害事象に対する予防や対応策について検討を行った。栄養量の算出など基本的な部分の他、グループ内での検討や発表時にはそれぞれの施設で実際に行っている有害事象に対する食事対応を聞くことができ大変参考になった。手術後の検討では同様

(様式1)

に栄養評価から栄養投与のプランの検討を行った。術後は食事形態の調整が必要であり、栄養士として患者の嚥下機能評価を行い、適切な食事形態や補助食品の提案を行うことや、より良い栄養サポートができるよう、多職種とも連携をすることが必要であると実感した。

慢性腎臓病等の慢性疾患やがん治療中の患者に対して栄養指導や入院時の栄養管理を行うことは多く、セミナーにて実践的な講義、検討を行うなかで今後の参考になることが多くあった。セミナーで学んだことを意識しながら、栄養管理を行っていききたい。

今回セミナーに参加することで、病態栄養専門管理栄養士の資格更新のための必須単位である5単位を取得することができた。今後もセミナーや学会等に参加し、ガイドラインや研究等、最新の情報を知ること、専門性の高い栄養学的知識・技術を学び、質の高い栄養サポートを患者および家族等に対し提供していききたい。